

## 令和2年度第1回 独立行政法人農業者年金基金資金運用委員会 議事概要

### 1. 開催日時

令和2年6月18日（木）14:00～15:03

### 2. 開催場所

独立行政法人農業者年金基金 一般会議室

### 3. 出席委員

・明田 雅昭 委員長 ・菅原 晴樹 委員 ・徳島 勝幸 委員 ・枇杷 高志 委員

### 4. 議事

- (1) 令和元年度運用結果の報告について
- (2) 令和元年度運用結果の評価について
- (3) 政策アセットミックスの検証について
- (4) 政策アセットミックスの今後の方向性について
- (5) その他

### 5. 概要

#### ○ 議事（1）、（2）

- ・事務局から、議事（1）についてポートフォリオ毎の運用結果を報告し、続いて議事（2）について各ポートフォリオについて概ねベンチマーク並みの運用結果となったこと、また、運用受託機関等の業務執行においても問題が無い旨説明し、了承された。
- ・なお、委員からは、今回の新型コロナウイルス感染拡大等に関連して、マーケットの状況について運用受託機関からどのような報告があったかについて質問があった他、来年度の運用受託機関等への評価では、テレワークによる管理運営上の影響の有無について記載すべきとの意見があった。

#### ○ 議事（3）、（4）

- ・事務局及び年金コンサルタントから議事（3）について説明を行い、続いて事務局から議事（4）について説明を行った。
- ・議事（3）については、メインシナリオに加え、参考として、本年秋季以降新型コロナウイルス感染再拡大となるリスクシナリオの下での効率性を検証し、その結果、メインシナリオにおいては、現在の政策アセットミックスは効率的フロンティア近傍に位置しており、引き続き効率性は維持されていること、また、リスクシナリオにおいては、効率的フロンティアからは大きく乖離しているが、現時点では留意事項に留まること

を確認した。

- ・ 議事（４）については、令和元年度第２回資金運用委員会です承された政策アセットミックスの微調整について、新型コロナウイルスの世界的拡大等を背景とした市場の大幅な変動を受けて一旦保留とし、現在においても微調整前の政策アセットミックスによる運用を行っていること、また、政策アセットミックス微調整案の実施可否を含め、今後、どのような対応をとるかについては、次回以降の資金運用委員会に向けて、各委員の意見を反映させた上で、事務局において検討を行うこと、併せて加入者アンケートを実施することについて了承された。
- ・ なお、委員からの主な意見は次のとおり。
  - ▶ 議事（３）の効率的フロンティアを見ると資産構成が外国資産に片寄せされる傾向にあり、資産毎の制約条件や現在同一としている国内株式と外国株式の構成割合を見直す必要があるかも知れない。
  - ▶ 為替ヘッジ付き外国債券については、世界的に債券の利回りが低位で推移していることから、為替リスクを取らなければリターンが取れなくなりつつあるのではないかと。
  - ▶ 現在の環境下では政策アセットミックスの微調整を直ちに実施する必要はないとも考えられ、また、見直しの検討の結果として、現在の政策アセットミックスを暫く維持するという結論もあり得るのではないかと（各委員共通的な認識）。
  - ▶ 加入者アンケートでは、リスクとリターンのバランスの見極めが必要であり、設問は慎重に検討する必要がある。

（以上）